

# きたひろしま 議会だより



主な内容

平成30年度決算	2～3	一般質問 町政をただす	8～14
委員会報告	4	うちの中学生が頑張っています！	14
令和元年度補正予算	5	意見書	15
議案審議の結果	6～7	決議 表紙の説明 あとがき	16

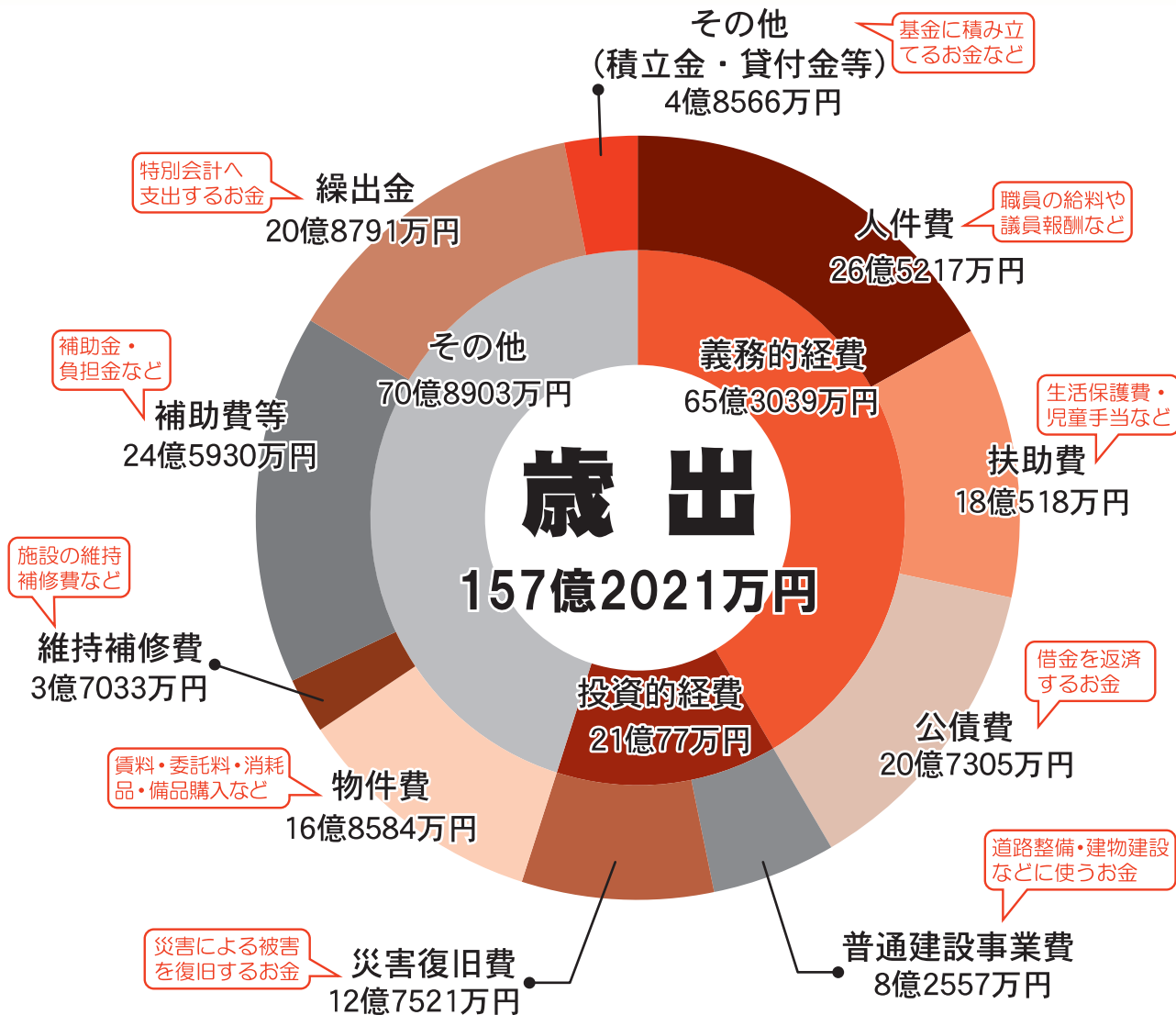
vol.  
**58**  
2019.11.1



令和元年第3回北広島町議会定例会が、9月6日から9月26日の21日間にわたって行われました。本定例会では、平成30年度の歳入・歳出に関する「決算審査特別委員会」が開催され、特別委員会で採決された12議案は全て認定されました。

また、提出された消費税及び地方消費税に関する改正にともなう条例改正など6議案、財産の取得など2議案、令和元年度の補正予算8議案についても、全て承認・可決されました。

その他、4件の意見書の提出、1件の決議がありました。

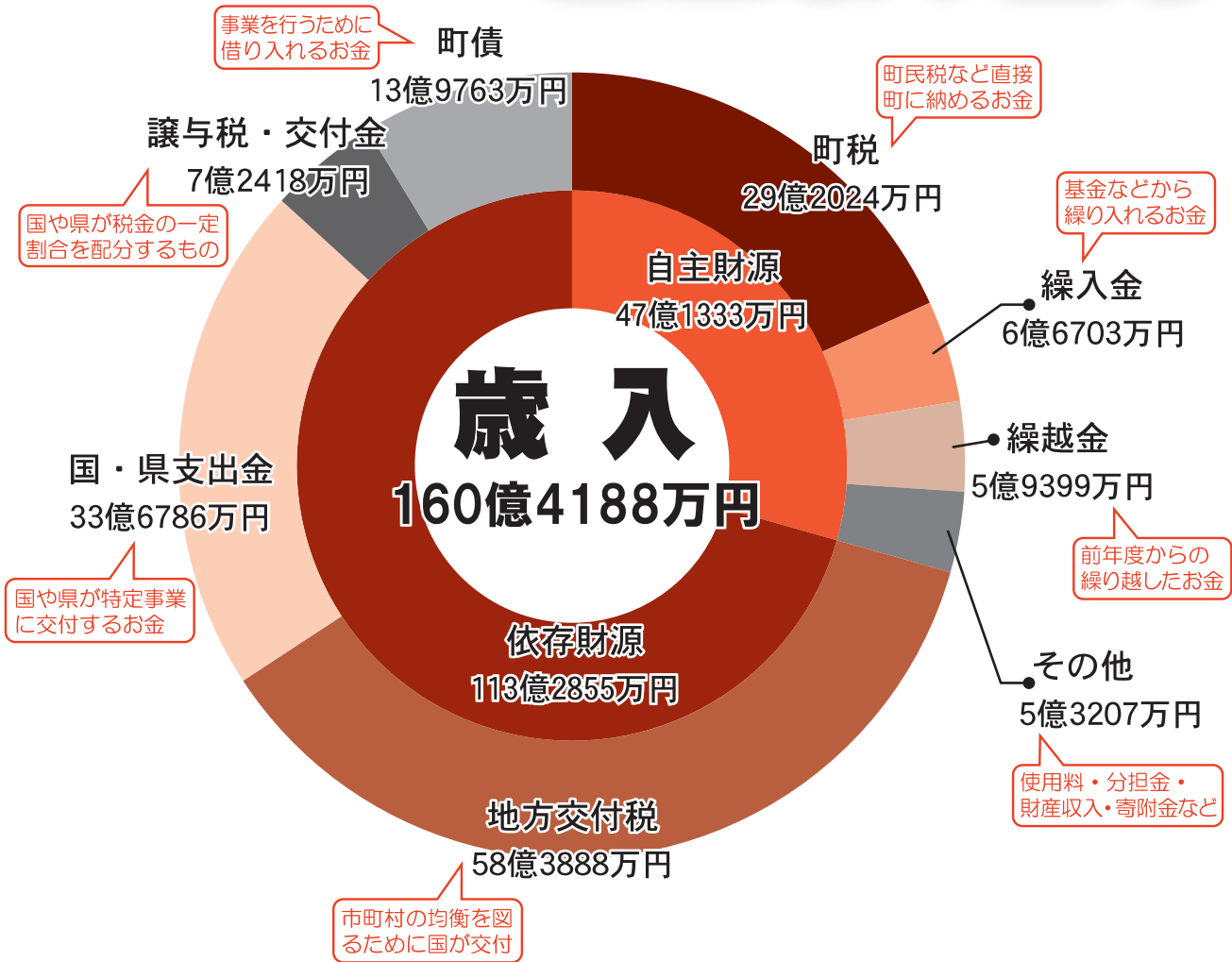


※万円未満を四捨五入しているため、合計金額は一致しません。

歳出 (前年との比較)				歳出 (前年との比較)			
一般会計	平成30年度	平成29年度	差額	特別会計	平成30年度	平成29年度	差額
人件費	26億5217万	27億5589万	▲1億372万	国民健康保険	20億8585万	23億2137万	▲2億3552万
扶助費	18億518万	18億9612万	▲9094万	下水道事業	7億9665万	7億8666万	999万
公債費	20億7305万	21億2422万	▲5117万	農業集落排水事業	3億4300万	3億3892万	409万
普通建設事業費	8億2557万	17億3816万	▲9億1259万	介護保険	28億6452万	28億6373万	80万
災害復旧費	12億7521万	5億2826万	7億4695万	電気事業	5449万	4600万	849万
物件費	16億8584万	16億8830万	▲245万	芸北財産区	40万	40万	0万
維持補修費	3億7033万	6億2846万	▲2億5813万	診療所	1億9653万	2億881万	▲1228万
補助費等	24億5930万	24億4158万	1772万	情報基盤整備事業	6億1754万	6億2573万	▲819万
繰出金	20億8791万	21億2043万	▲3252万	後期高齢者医療	2億9288万	2億7074万	2214万
その他(積立金・貸付金等)	4億8566万	5億7727万	▲9162万	計	72億5187万	74億6235万	▲2億1048万
計	157億2021万	164億9868万	▲7億7847万				

# 平成30年度決算

## 災害復旧のため 基金取り崩し



歳入 (前年との比較)

一般会計	平成30年度	平成29年度	差額
町税	29億2024万	29億3654万	▲1630万
繰入金	6億6703万	12億2876万	▲5億6173万
繰越金	5億9399万	3億7511万	2億1888万
その他	5億3207万	6億2540万	▲9333万
地方交付税	58億3888万	62億1501万	▲3億7612万
国・県支出金	33億6786万	27億4928万	6億1858万
譲与税・交付金	7億2418万	7億1860万	557万
町債	13億9763万	22億4397万	▲8億4635万
計	160億4188万	170億9267万	▲10億5079万

歳入 (前年との比較)

特別会計	平成30年度	平成29年度	差額
国民健康保険	21億1166万	24億5857万	▲3億4692万
下水道事業	8億554万	7億9926万	628万
農業集落排水事業	3億4865万	3億4865万	516万
介護保険	28億9420万	28億6598万	2852万
電気事業	6081万	5497万	583万
芸北財産区	40万	41万	▲1万
診療所	1億9906万	2億1945万	▲2039万
情報基盤整備事業	6億1789万	6億2613万	▲824万
後期高齢者医療	2億9456万	2億8182万	1274万
計	73億3277万	76億4978万	▲3億1701万

## 監査委員の審査報告

代表監査委員 山根千昭  
監査委員 森脇誠悟

本町の歳入関係は、地方交付税の合併特例加算の縮小などによる歳入一般財源の減少に伴う財政不足により、基金の取り崩しで繰り入れを行うなど、全体的に財政が厳しい状況にある。これまでの課題でもある債権管理にあたっては、債権管理プロジェクトチーム発足 10 年を超え、各担当課ごとの努力も見られ成果も上がってきている。今後とも債権者の現状把握に努め、引き続き公正かつ公平な行政であるべきところを強く認識し、債権情報を共有・連携し業務にあたっていただきたい。

歳出関係は、町から各種団体等への補助金及び交付金について、補助金・交付金を支出したその成果が出ているのか、再度追加評価をしていかなければならない。現在、指定管理方式で運営している公共施設については、公共施設等総合管理計画に基づき、施設の統廃合や地元移管なども検討していくことが必要である。また、平成 29 年・平成 30 年の豪雨災害による復旧費の増加や、近年不測の事態による支出も多いことから、基金を取り崩して財源に充てている。限られた財源の中で恒常的な支出となっている部分を精査していき、歳出減少を目指さなくてはならない。また、全体的に不用額が多い。予算額の精算と見積りを精査し、適正な予算整理を行い、事業の執行に務めるように強く要望する。

平成 31 年度から豊平病院を豊平診療所へ移行し、併せて指定管理者も変更となった。今後、地域医療の確保・維持の観点から豊平診療所、芸北診療所関係にあっては、根本的な見直しを含めた中長期計画を行う必要がある。今後診療所としての役割である医療、介護、生活支援、介護予防、住まいを包括的にできる体制を構築することを求める。

## 決算審査特別委員会報告

委員長 山形しのぶ

審査過程では、意見、要望等も出ているので、今後の事業執行及び令和 2 年度予算編成の中に反映されるよう強く要望する。平成 30 年度は町の将来像を目指して「協働のまちづくり」「ひとづくり」に向けた事業を重点施策と位置づけられ、各種主要施策が展開された。財政調整基金積立金については、平成 30 年 3 月末には約 14 億 9500 万円であったものの、1 年間で約 2 億 3300 万円の減額となっている。地方交付税の合併特例加算の縮減など、一般財源の減少に伴う財源不足に加え、平成 29 年・平成 30 年に発生した災害の復旧にあたり、基金を取り崩しての繰り入れを行うなど、全体的に厳しい財政状況にある。

本委員会では「主要施策の成果に関する調書」を主体として、決算状況の説明を受けた。この調書の中では、成果と課題の記述が統一されておらず、今後、事業ごとに行政評価をし、成果と課題を明確にして、個別に記述すべきである。

債権管理については、担当課ごとに成果も上がってきているが、債権管理回収マニュアルなどを活用し、関係課とより一層の連携を図り、更なるきめ細かな債権回収の取り組みを求める。

少子高齢化が進む中、行政には定住と雇用、住民の生活向上、福祉サービスの充実が求められていることは言うまでもない。限られた財源で最大の効果を上げられるよう、町長、管理職及び職員個々がより厳しさを持って事務執行にあたられるよう求める。

# 補正 予算

令和元年度

## 災害復旧は続いている



9月補正予算は、平成30年と令和元年7月に発生した災害復旧や消費税増税などへの対応などが盛り込まれている。なお、平成29年度災害復旧工事は、すでに全ての契約が済んでいる。また、幼児教育・保育所無償化、スポーツをキーワードとした地方創生事業が大きな点となっている。

### 【一般会計】その他の主な内容 (万円)

事業名	補正額
定期人事異動による人件費	△ 1219
消防団積載車購入見直し	△ 862
地域づくり推進委託	1100
コミュニティホーム整備	19
観光プロモーション実行委員会補助金	100
田原温泉・天狗の里運営事業	△ 713
プレミアム付商品券事業	△ 210
大朝ふるさと病院施設整備交付金	2785
医療従事者育成奨学金	240
豊平診療所改修工事	△ 1813
地域施工支援事業	290
道路維持補修事業費	3820
橋りょう維持修繕事業	950
河川維持修繕事業	1825
災害復旧事業	1億8800
生活用水取水施設整備補助金	1000
千代田運動公園体育館天井修繕	254

### 幼児教育・保育所無償化

1779.7万円

10月1日より幼児教育・保育の無償化が実施され、3歳から5歳の子どもの保育料などが無償化となった。令和元年度の財源は、全額が国庫負担となる。



### 【特別会計】主な内容 (万円)

事業名	補正額
《下水道新設工事》 千代田浄化センター修繕ほか	3983
《農業集落排水事業》 修繕料	508
《介護保険》 介護給付費準備基金積立 介護給付費国庫負担金ほか	1477 791
《電気事業》 監視カメラ設置工事	209

**不一致① 工事請負契約の変更(橋梁維持修繕工事)**

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤	中田	大林	審議結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決

**反対討論** 美濃孝二 鉛塗料等の使用状況を確認すべき重要な国からの通達管理があいまいで反省がない。

**不一致② 一般会計歳入歳出決算の認定**

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤	中田	大林	審議結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	可決

**反対討論** 美濃孝二 自治体本来の仕事である「住民福祉の向上」のための仕事と逆行する事業がある。  
 ①千代田まちづくり拠点整備の予算規模 10 億円は、事前に住民にも議会にも説明していない。  
 ②予算を使いきれず残ったお金、7 億 4000 万円もの不用額を住民のために活用しなかった。  
 ③バス運行事業でホープタクシー料金を下げて実証運行していない。  
 ④一度議会が否決した職員の旅費日当廃止を再度提出し強行したにもかかわらず、効果額も調べていない。  
 ⑤収入の 85%にもあたる解放団体への補助金。

**不一致③ 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定**

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤	中田	大林	審議結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	可決

**反対討論** 美濃孝二 6年後 16%も値上げになる県単位化初年度の決算。また悪質でないのに資格証を発行。

**不一致④ 介護保険特別会計歳入歳出決算の認定**

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤	中田	大林	審議結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	可決

**反対討論** 美濃孝二 第 7 期介護保険計画にもとづき県内最も高い保険料にした決算。

**不一致⑤ 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定**

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤	中田	大林	審議結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	可決

**反対討論** 美濃孝二 高齢者が増えれば保険料が上がる制度は廃止すべき。

**不一致⑥ 消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整備**

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤	中田	大林	審議結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	可決

**反対討論** 美濃孝二 消費税増税分を上乗せしても、国に納める必要のないものも含まれている。

**不一致⑦ 財産の処分(犬追原工業団地)**

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤	中田	大林	審議結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	●	○	可決

**反対討論** 美濃孝二 公募期間 1 週間と極めて短期間で売却することは公平さが無い。

**不一致⑧ 工事請負契約の締結(豊平診療所改修工事)**

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤	中田	大林	審議結果
○	○	○	○	○	○	○	○	●	ー	○	○	○	○	可決

**不一致⑨ 一般会計補正予算**

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤	中田	大林	審議結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	●	○	可決

**反対討論** 美濃孝二 県内過疎 7 市町が保育所副食費を無料にするのに、低所得者一部にとどまっている。

審議日程	請願・陳情	請願陳情者名	全員一致	不一致	結果 上：陳情 下：発議	不一致 質疑討論
9月26日 (定例会)	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出	広島県教職員組合 山県・安芸高田支区委員長 大久保 明信	○	○	採択 可決	
	主要農作物種子法を廃止する法律に対する意見書の提出	竹松 隆司 ほか 3 名	○	○	採択 可決	
	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出	株式会社 エス・ティ・ユー 代表者 田辺 俊則 ほか 3 名	○	○	採択 可決	
審議日程	発議	提出者	全員一致	不一致	結果	不一致 質疑討論
9月26日 (定例会)	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出	北広島町議会議員 真倉 和之 賛成者 ほか 4 名	○		可決	
	広島県境に接する益田市匹見町道川地区に計画されている(仮称)益田匹見風力発電計画に対する決議	北広島町議会議員 亀岡 純一 賛成者 ほか 4 名	○		可決	

# 令和元年第2回臨時会及び9月定例会 議案審議の結果

正式な議案名を分かりやすい表現にしています。

審議日程	議案・提案	内容等	全員一致	不一致	結果	質疑討論
7月10日 (臨時会)	工事請負契約の変更(橋梁維持修繕工事)	胡子橋の橋梁維持修繕工事の金額について、3002万1840円の増額		●	可決	不一致①
平成30年度	専決処分の承認(令和元年度北広島町一般会計補正予算)	令和元年7月豪雨に対する災害復旧のため、4400万円の増額	○		可決	
	一般会計歳入歳出決算の認定	歳入決算額:160億4187万8556円 歳出決算額:157億2020万9451円		●	可決	不一致②
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	歳入決算額:21億1165万6925円 歳出決算額:20億8585万4415円		●	可決	不一致③
	下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	歳入決算額:8億554万1513円 歳出決算額:7億9664万6232円	○		可決	
	農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	歳入決算額:3億4864万9692円 歳出決算額:3億4300万4018円	○		可決	
	介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	歳入決算額:28億9419万9537円 歳出決算額:28億6452万683円		●	可決	不一致④
	電気事業特別会計歳入歳出決算の認定	歳入決算額:6080万4509円 歳出決算額:5449万978円	○		可決	
	芸北財産区特別会計歳入歳出決算の認定	歳入決算額:40万3229円 歳出決算額:40万2016円	○		可決	
	診療所特別会計歳入歳出決算の認定	歳入決算額:1億9906万4092円 歳出決算額:1億9653万1986円	○		可決	
	情報基盤整備事業特別会計歳入歳出決算の認定	歳入決算額:6億1789万3802円 歳出決算額:6億1753万9960円	○		可決	
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	歳入決算額:2億9455万7217円 歳出決算額:2億9287万7980円		●	可決	不一致⑤
	水道事業会計利益の処分及び決算の認定	収益的収入:5億6957万9127円 収益的支出:5億134万1683円	○		可決	
	豊平病院事業会計決算の認定	収益的収入:4億627万4462円 収益的支出:4億2691万3407円	○		可決	
9月26日 (定例会)	北広島町使用料条例の一部を改正	北広島町まちづくりセンター建設に伴い、千代田グラウンドを廃止するため	○		可決	
	消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整備	消費税及び地方消費税の税率が改正されるため		●	可決	不一致⑥
	北広島町消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正	消防団員に対する成年被後見人等の権利の制限を適正化	○		可決	
	北広島町ひとり親家庭等医療費支給条例の一部を改正	ひとり親家庭等の医療費支給について、特別な事情の追加など	○		可決	
	北広島町重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正	重度心身障害者の医療費支給について、特別な事情の追加など	○		可決	
	北広島町印鑑条例の一部を改正する条例	住民票等へ旧氏の併記が可能となる	○		可決	
	財産の取得(小型動力ポンプ付積載車)	芸北支所へ配備、957万円	○		可決	
	財産の処分(犬追原工業団地)	大朝犬追原の土地を売却、1128万8853円		●	可決	不一致⑦
	工事請負契約の締結(豊平診療所改修工事)	豊平診療所を改修、1億945万円		●	可決	不一致⑧
令和元年度	一般会計補正予算	5億4500万円の増額、保育の無償化や災害復旧、スポーツ振興など		●	可決	不一致⑨
	国民健康保険特別会計補正予算	400万円増額、人事異動に伴う職員給与費など	○		可決	
	下水道事業特別会計補正予算	4250万円の増額、千代田浄化センター修繕や消費税の支払いなど	○		可決	
	農業集落排水事業特別会計補正予算	800万円の増額、設備の修繕や消費税の支払いなど	○		可決	
	介護保険特別会計補正予算	2300万円の増額、介護給付費準備基金への積立や前年実績による返還など	○		可決	
	電気事業特別会計補正予算	700万円の増額、監視カメラの設置や基金への積立など	○		可決	
	診療所特別会計補正予算	400万円の増額、医師住宅の改修や人事異動に伴う職員給与費など	○		可決	
	情報基盤整備事業特別会計補正予算	1800万円の増額、支所設備の修繕や消費税の支払いなど	○		可決	

# 一般質問

## 12議員が町政をたず

### 一般質問の順番と質問項目

質問時間30分、質問回数は制限なし。

ページ	質問議員	質問項目	ページ	質問議員	質問項目
8	大林正行	①食品ロス削減などゴミ減量化を問う ②外国人の日本語教育を問う	12	室坂光治	西日本一のそばの里づくりを目指して32年目、そばによるまち起こしについて問う
9	中田節雄	農業を守るために獣対策が急がれる	12	伊藤 淳	①新町建設計画などの現実性について ②事業ごとの現場と利用者間にすれ違いはあるのではないか
9	服部泰征	若い世代に選ばれる町を			
10	湊 俊文	歯の健康を健康政策の柱に	13	濱田芳晴	次世代を考えるパート29
10	梅尾泰文	①高速道千代田インターの利便性の向上は	13	真倉和之	財政健全化調査特別委員会の報告と行政の対応を問う
		②障害者地域生活支援のシステム導入のとりくみは			
11	山形しのぶ	クラブ活動等の充実に向けて支援を	14	亀岡純一	①バイオマス資源の活用とカーボン・オフセット ②町内のトンネルの将来は？
11	美濃孝二	①保育士確保等に町の責任を果たし保育を守れ ②ホープタクシーの住民アンケート実施を			

### 大林正行議員



## 食品ロスの削減を

### 事業所を回り指導している

国内で捨てられた食品は約643万トンであり、もったいない話である。食品ロスの削減は、誰もが取り組まなければならない重要な課題である。

**問** ゴミに占める食品(生ゴミ)の割合は。

**答** 町民課長

燃えるゴミのうち生ゴミの割合は約35%。このうち食べられる食品は7%で年間約280トンである。

**問** 事業者にどのような指導をしているのか。

**答** 町民課長

町長とともに事業所を訪問し、ゴミの減量化対策を提案した。性能の良い生ゴミ処理機の希望や職員を対象とした分別説明会の要望があった。

**問** 香川県三豊市では、可燃ゴミを燃やさないで資源に再生しているが、どのように評価しているのか。

**答** 町長  
芸北広域環境施設組合で検討を始めたところである。臭いもほとんど

ず単純ですっきりしたやり方で故障もない。バクテリアを利用したやり方で一つの選択肢になると思っている。

**問** 宴会の最初の30分と最後の10分間で食べる時間を設ける3010運動が浸透していないが。

**答** 町民課長

広報などで啓発を行っているが意識改革まで至っていない。今年度は、地域を支える人づくりを目的にイベント時に家庭で手付かずになっている食品を持ち寄るフードドライブの取り組みを実施したい。

**問** 外国人の日本語教育

町内に住む外国人は526人で年々増加している。外国人に対する日本語教育の推進はどのように考えているのか。

**答** 町民課長

日本語教室の必要性は感じている。日本語教室は次年度の実施に向けて今年度計画する予定である。外国人の方に対する理解や異文化交流も視野に入れて検討している。





中田節雄議員

## 農業を守るための獣対策が急がれる

### きたひろ学び塾で狩猟の後継者を育成

**問** 小規模農家の方は、ほ場も小さく、十分な獣対策にはなり得ていない。そのため被害も大きい。

**答** 捕獲作業も大変な作業で、高齢化も進み、捕獲技術の伝承のためにも、狩猟免許の取得者を増やす必要がある。大変な作業の対価としての、捕獲奨励金が少ないのではないか。

▼大崎上島町の場合  
 イノシシ(大) 1万2千円  
 イノシシ(小) 5千円  
 シカ 1万2千円  
 タヌキ 5千円  
 ニートリア 5千円

となつていて、危険を伴う捕獲作業の対価として、これくらい報奨金が必要ではないか。

**答** 農林課長

平成30年度の狩猟免許取得者は15名であった。きたひろ学び塾の有害鳥獣駆除の後継者育成講座も2回開催し、10名から13名が受講されている。年度内にもう1回を予定している。

捕獲については、大変な作業であり、苦勞されていることは承知してい

るが、財政的に非常に厳しく、現行どおりとさせていたいただきたい。

**問** 捕獲作業も大変であるが、捕獲後の廃棄処理の労力も大きく、埋設箇所も限られている。

大崎上島町の鳥獣処理施設を視察させていただいたが、この施設は微生物を活用し、獣を分解処理する方式で、汚水・排水もなく、脱臭装置により、臭いも少なく、優れた施設で、こうした施設を導入する考えはないか。

**答** 町民課長

きれいなセンターでは、年間800頭のイノシシ・シカが持ち込まれているが、燃え残りも多く、安芸高田市と協議していく。

**答** 町長

この施設は以前見学させていたのだが、立派な施設で、コスト的には焼却処分と同程度と考えられる。きれいなセンターでの処分も限界に近く、運搬距離のこともあり、安芸高田市とは別に、町として考えていきたい。



服部泰征議員

## 若い世代に定住してもらうには

### 家族や地域、行政など町全体で取り組む

**問** 3大都市圏へ地方から人が流れているが。

**答** 企画課長  
 中心である広島市でも転出超過で懸念している。次期の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にある関係人口の創出・拡大、個人や企業による地方への資金の流れの強化を基軸に、施策展開していく。

**問** 若者が就きたい職業の選択肢が多くあることが大切では。

**答** 商工観光課長  
 町の将来を担う若い世代が地域に残るためにも、自らの活躍の場が身近にあることは大切な要件。中小企業の支援については、平成28年度に北広島町中小企業・小規模企業振興基本条例を制定した。設備投資として北広島町導入促進計画を策定。人材育成ではがんばる企業応援事業や北広島町ビジネス創造支援事業、人材の確保については北広島町産業フェアや企業ガイドの作成等をしている。北広島町商工会や広島

県、専門機関と連携し、企業などからの相談に対応している。

**問** 北広島町に住みたくなるような取り組みは。

**答** 町長  
 これまで、北広島ふるさと夢プロジェクトによる郷土愛の醸成やUターン奨励金などに取り組んできた。また第2次長期総合計画では、雇用環境の充実、ふるさとへの誇りの醸成、安全・安心な暮らし、未来を創造するまちを重点施策として取り組んでいる。

千代田高校では今年初めてジョブフェスタが開催される。地元企業の素晴らしさを知っていただきたい。また来年度には、高校生議会の開催を検討している。

行政の取り組みだけでは限定的である。町内で育った若者の定住には、保護者・家族・地域の方々と、行政・学校などと、町全体での取り組みに力を入れていく必要があると考えている。

湊 俊文議員



# 歯の健康を健康政策の柱に

## 歯と口腔ケアは生涯及び日常生活に大切

**問** 歯の健康を健康政策の柱にするために、北広島町歯科口腔保健条例の制定は考えているか。

**答** 保健課長

平成23年3月に制定の広島県歯と口腔の健康づくり推進条例をふまえ積極的に推進する。町として条例の制定は考えていない。

**問** 歯の8020運動（80歳で自分の歯20本）とともに、65歳で自分の歯を25本持つ6525運動（ローゴニコニコ）を展開する考えはないか。

**答** 保健課長

6525運動は8020運動と連動しているもので、8020運動を基本として、年一度の歯科検診の受診を勧めている。

**問** 地域包括ケアシステムで歯における歯科医師会、歯科医師、歯科衛生士との連携は確立されているのか。

**答** 保健課長

訪問歯科診療等において歯科医師会と連携を取って進めている。

**問** 幼児期から高齢者まで、切れ目のない歯の健康管理には医療連携が大切で、かかりつけ歯科医の存在が欠かせない。各ライフステージに合った、かかりつけ歯科医の重要性を保護者、住民に対して周知させているか。

**答** 保健課長

かかりつけ歯科医を持つことで口腔ケアをすることは、生涯及び日常生活において口腔障害を早期に発見する上で大切である。乳幼児期、就学前には、かかりつけ歯科医を持つているか聞き取り、持つことの大切さを伝えている。

**問** 学校の歯科検診で要治療と判定された生活困窮家庭の児童が、歯科医を訪れるよう保護者への伝達は誰がするのか。助成はあるか。

**答** 学校教育課長

要治療の児童には、歯科検診結果を保護者に伝える。要保護・準要保護世帯については医療券を発行している。

梅尾泰文議員



# 高速バスの利便性の向上は

## 増便するなど努力している

**問** 今年4月より高速バスが上下線とも4便増便になり、平日38便から42便になった。乗れないということは起こっていないか。

**答** 企画課長

運行会社に聞いたが8月に3回乗れないことがあったと聞いている。今後増車等も検討する。

**問** 高速バス料金は公平・公正な運賃になっているか。広島バスセンターからの運賃表で確認すると所要時間と運賃に公平性が認められないがどうか。表を参照されたい。

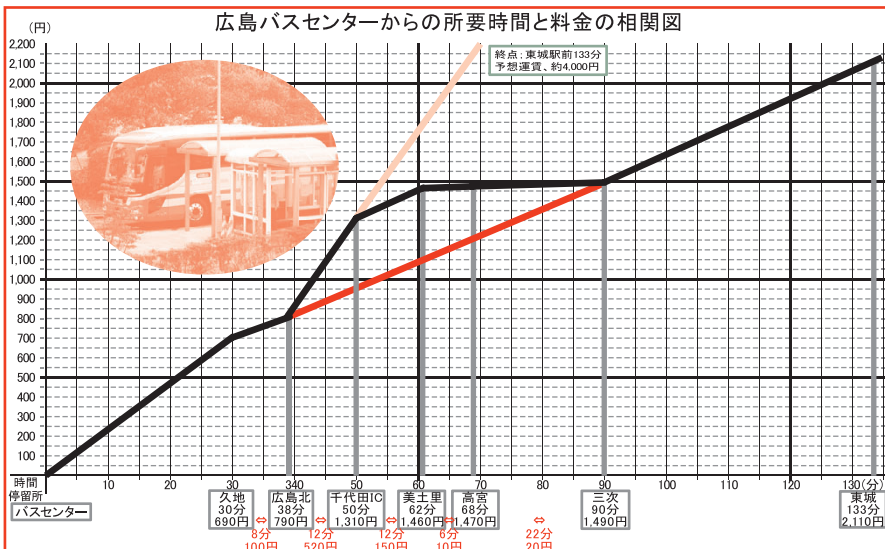
**答** 企画課長

今までの経緯があり運賃改定は難しいと運

**問** 行会社から回答があった。千代田インターで運賃改定を検討したい。

**答** 企画課長

消費税の改定もあり何らかの動きがあるのではないか。





山形しのぶ議員

# クラブ活動等の充実に向けて支援を

## 学校教育で大切なので努力する

**問** 少子化が進み、クラブ活動の数は減少しているか。

**答 教育長**

5年前に比べ生徒数は、芸北中、豊平中は半数に減っている。芸北中は30年度から神楽部と文化部を休部している。

**問** クラブ活動の課題はどのようなものがあるか。

**答 教育長**

生徒数の減少により、単独で大会に出場できない部活もある。また、生徒数減少により教員数も減少している。専門性のない部活の顧問になり、生徒や保護者の期待に応える指導ができないこともある。

**問** 今年度のクラブ活動遠征費補助金は。

**答 教育長**

今年度当初予算で530万円。中体連大会参加のバス代は入っていない。

**問** 教員や保護者の送迎禁止としている学校もあり、クラブ活動遠征費は足りないのではないか。

**答 教育長**

不足する点はあるが、予算の範囲内で行ってしまっている。十分だとは思っていないが、生徒の安全を考え、保護者の送迎をやめてもらっている。

**問** クラブ活動で使う備品や吹奏楽部が使う楽器などの予算要求はあるか。

**答 教育長**

学校からの予算要求はあるが、十分対応できていない。努力したいと思う。

**問** 活発なクラブ活動に向けて本町はどのように取り組むことができるか。

**答 町長**

中学校の部活動で得る力は様々ある。各分野で活躍しているトップアスリートへの講習や交流を行うっていく。財政的には厳しいが、できる限り努力していく。

**答 教育長**

学習意欲、自己肯定感、責任感や連帯感など教育活動の意義を果たす場。予算面では厳しいが、これから少しでも頑張りたい。

美濃孝二議員

# 保育士確保等に町の責任を果たせ

## 奨学金制度を前向きに考えていく

**問** 北広島町の8民間保育所等では保育士不足で入所を断らざるを得ない。県として様々な支援を行っている島根県を参考に、北広島町も奨学金制度など実施を。

**答 福祉課長**

奨学金制度を、前向きに考えていく。

**問** 研修旅費や給与上乗せ、家賃補助等の支援を。

**答 福祉課長**

研修旅費等の支援は町全体の財政規模を含め総合的に考えていく。

**問** 保育料無償化に伴い北広島町が減免していた財源はいくら浮くのか。

**答 福祉課長**

年間4600万円の町負担が減る。

**問** 町は3歳から5歳児の副食費（おかず）を低所得者に限って無料だが、他の過疎自治体は完全無料。北広島町も浮いた財源を、副食費完

全無料や保育士確保等に使うべき。

**答 福祉課長**

完全無料は実施しない。国は副食費4500円としていたが突然5090円と告示。そうすると民間保育所等に交付する運営費が約600円少くなる。町が負担すべき。

**答 町長**

国・県にあつてはならないことと主張する。

その後9月18日厚労省は運営費を600円減らす8月22日「告示案」を撤回しました。

**問** 避難情報等発令された場合、所長任せにせず他自治体のように閉所等、町が責任をもちマニュアルを。

**答 危機管理課長**

防災マニュアルの整備を早急にすすめる。「高いとの苦情はない」…安芸高田市お太助ワゴン

**問** 北広島町のホープタクシー料金の満足度は2割

安芸高田市は8割。アンケートを実施し改善を。

**答 企画課長**

アンケート実施の予定。

副食費完



室坂光治議員



# そばによる町おこしについて

## そば生産の補助と被害対策について

**問** 豊平地域は、平成9年に「西日本一のそばの里づくり」を目指しそばの栽培から生産・加工までの6次産業化を確立し、官民一体でのまちおこしの取り組みを始めた。豊平そばのブランドである「とよむすめ」は平成24年の豊作を最後に6年連続不作。耕作者の高齢化対策の検討はあるか。

**答** 農林課長

農業集団単位でのそば生産を推進。共同利用機械での作業受託等での支援を行っている。

**問** 鳥獣被害対策はどうか。

**答** 農林課長

そばに限らず農作物の鳥獣被害対策は侵入防止柵の設置補助を行う有害鳥獣被害防止事業を実施。ほ場の暗渠排水対策に係る補助制度はあるか。

**答** 農林課長

一定の要件はあるが町単独事業として地域施工支援事業の活用が可能。

**問** 播種・刈り取りの適期は播種が8月上旬前後

刈り取りは10月下旬前後が適期と思われるがある程度好天が続くことが重

**要** 連作障害はあるのか。

**答** 農林課長  
信州大学農学部教授の井上先生の評価で、連作障害はないとのことなので、間違いないと思う。

**問** 平成26年10月に豊平

中学校でそば打ちクラブが誕生。将来にわたり児童生徒の何人かがそばに興味を持ち後継者として店舗を持ち町の発展になると考える。

**答** 生涯学習課長

北広島ふるさと夢プロジェクト事業は子ども達が町の魅力を再発見・再認識し将来北広島町に住みたいと思える子どもの育成をはかる。高校卒業後に地元に戻って地元で就職されており、さまざまな体験から仕事に取り組みそば打ちを目指し活躍されている。

**答** 町長

「そば打ち」だけの後継者はなかなか難しいため、それを基軸にしながらふるさとの良さを知り、ふるさとを大切にしてくれる子どもが増え、色々な面でUターン等をしてくれるとありがたい。

伊藤 淳議員



# 住民は同軸ケーブルだが行政は

## 本庁支所間では光ケーブルが必要

**新町建設計画の現実性は**

**問** 新町建設計画と長期総合計画の違いは。

**答** 企画課長

新町建設計画は合併特例債の根拠となっている。長期総合計画は事業の基軸として扱う。

**問** 新町建設計画の見直しは可能か。

**答** 企画課長

計画の見直しは可能。しかし、現在の計画を無視するわけではないが、計画を見直すことは考えていない。

**問** 新町建設計画にあること全てをしるというわけではない。実際に現実性が乏しいものも多数ある。どこまでやるつもりか。

**答** 企画課長

旧町単位の差異は把握しているが、新町建設計画の見直しの議論はなかなか難しい。現在は、合併特例債の期間延伸があったため、計画の延伸をしている。

**問** 新町建設計画は合併特例債の借り入れ根拠と

して運用されている。合併特例債以外を活用する場合は、新町建設計画を根拠に使わないという理解でいいか。

**答** 企画課長  
新町建設計画、長期総合計画、総合戦略などの計画を睨みながら、国の財政措置、町の財政、緊急度などを勘案していく。本庁支所間の内部ネットワークについて

**問** 内部ネットワークは光ケーブル。なぜ光ケーブルが必要なのか。

**答** 総務課長

本庁支所間では、距離があり、大量の情報交換が必要のため、光ケーブルの効率が一番良い。

**問** 北広島町のインターネットは同軸ケーブルであり、スピードが遅い。光ケーブルは、行政には必要、住民には不必要という判断なのか。

**答** 総務課長

スピードの課題は認識している。光ケーブルは本庁支所間では必要なツールと考える。



濱田芳晴議員

# 次世代を考える パート29

## 里山事業をやった

**問** ササユリの里作りはできるのか。北広島町は町木がテングシデ、町花はササユリ。芸北エリアでは多く見ることができているが、千代田エリアではほとんど見ることができない。町花になった以上どこでも見ることができると里作りを考えてはどうか。

**答** 以前の質問で、現在花の咲く場所を調査中と、里山の草刈りによって、昔あった小球が太陽の恵みをもたらして、2〜3年で開花球になって開花すると。誰かやってみられた町民がおられるのか。特に千代田エリアではどうか。

**問** 絶滅する前に何かする必要がある。日本のトキは絶滅し、中国からもらい受け、保護増殖して

現在がある。絶滅する恐れのおキナ草、島根県三瓶山にあったが少なくなり、小学校でタネをまいて「生育外保全」で育て、植栽を続けておられる。ササユリも千代田エリアなど他地区で見られないところではタネをまいて6〜7年間、開花球になるまで「生育外保全」で育て、植え付ける方法で私の指にとまった同志と頑張ってみたいと思うがどうか。

**答** 生涯学習課長 この地域にある親株からタネを取ってまくのがいいのではないかと。

昭和の時代、多くあったササユリも里山の草刈りをしなくなり姿を見ることができなくなりました。2025年には、戦後生まれも80歳。人の手が入らなくなることを「危惧」している。



真倉和之議員

# 財政健全化調査特別委員会報告と行政対応は

## 特別委員会の報告に取り組んでいく

**問** 町税は平成29年度をピークに減少傾向になると考えるが、企業の投資などによる増、森林環境譲与税の新設や消費税率の引き上げもあり、人口減少が言われるなかで今後の町税について短期的長期的にどのような予測をされているのか。

**答** 財政課長 財政収支の昨年度の推計では、平成30年度の決算額を平成29年と比較して約1600万円(0.6%)減少している。地方税収は景気の回復が見込まれることから、若干の増加を見込んでいる。長期的な予測は困難な面もあるが、固定資産税は土地の下落傾向や設備投資の不透明さから、町税全体では減少傾向にあると推計している。

**問** 普通交付税の地方対策分の減少や合併特例加算分の減少により、実質何億円の歳入減となるのか。

**答** 財政課長 基準財政需要額と収入

額は、その年度の算定式により計算され毎年額が異なるが、合併特例加算分の段階的な縮減が始まった平成27年度から今年度までの5年間の影響額の試算で、旧4町が存続した場合の合併算定替えの交付税額と北広島町で算定された交付税額との差額は45億となり、そのうち縮減された額は20億円である。

**問** 町有地の活用は芸北地域5か所、大朝地域2か所、千代田地域1か所、豊平地域1か所の売却候補地があるが、この町有財産を今後どうするのか。また借地は持ち主に返されるのか、または将来的に町が買い取るのか併せて問う。

**答** 財政課長 町有遊休地は測量し必要であれば、分筆などの手続き後、一般競争入札で公売の予定である。借地については今後将来的に活用の見込まれない土地は所有者にお返しする方向で検討している。

亀岡純一議員



# 老朽化したトンネルの将来をどう考える

## 緊急性の高いものから順次取り組む

**問** バイオマス資源の活用とカーボン・オフセット

**答** 町の木質バイオマス資源を活用した再生可能エネルギー導入計画等策定調査業務は、今後どのような展開に結び付いていくのか。

**問** 生涯学習課長

**答** 現在、町内バイオマス資源を有効活用することを目指すとした地域おこし協力隊員を募集している。芸北せどやま再生事業モデルとして、全町で適正な里山管理を促進する仕組みを構築したい。

**問** カーボン・オフセットの考え方や、J・クレジット制度の仕組みをふまえて、町としての今後の進め方をどのように考えているか。

**答** 町民課長

地元企業を中心に制度の周知を行い、クレジツトを売却していきたい。売却益については、せどやま再生事業等の環境施策に還元し、さらなるCO<sub>2</sub>削減・吸収の取り組みに繋げていきたい。

**問** 町内のトンネルの将来は

**答** 建設課長

現在、いずれも通行可能。平成30年度までに実施した定期点検の結果、県管理5トンネルの内、早期に補修が必要なトンネルが3つ。八幡トンネルと本三坂トンネルは、防雪部スノーシエツドについて今年度、測量調査設計中。溝口トンネルは、現在補修工事を実施している。町管理の下山トンネルは、今年度中に2回目の点検を行う予定。

**問** 八幡トンネルのよう

**答** 建設課長

小規模な改築では、抜本的な解決に至らないことから、県としては具体的な整備の見通しが立っていない。町としても、その可能性について引き続き模索していきたい。

**問** 建設課長

小規模な改築では、抜本的な解決に至らないことから、県としては具体的な整備の見通しが立っていない。町としても、その可能性について引き続き模索していきたい。

# うちの中学生が頑張っています！

2019年度の広報では、北広島町の中学校5校を特集します。今回は、千代田中学校の生徒会6人にインタビューしました。



生徒会長 ことみ 琴



副会長 ゆうき 裕



副会長 まこ 真子

今年度生徒会のテーマは「凡事徹底」当たり前のことを当たり前にやるだけなく、チャイムの2分前には着席し、予習・復習をすることや挨拶の徹底など、千代田中学校の土台部分を強く築き上げていきたい！という思いから考えられたものだった。

「千代田中学校の良さは？」と聞くと、生徒同士だけではなく先生との絆の強さもある。「行事等に対して、学校全体が熱心に取り組むことができます。また、今年は3年ぶりに全校レクリエーションを行いたい！と生徒会が声を上げ、実施することができました。そう話し、喜びのガッツポーズをする姿から、学校全体の前向きさが伝わってきた。

先輩に憧れて会長となり、今では大きな信頼を得ている木村さん。人前で話す経験をさせてもらい、その経験を活かすことができている中光君。部活の先輩から生徒会やソーランの魅力を知り、良さを伝えたいと挑戦した折出さん。1年生の時から生徒会に憧れ、強い気持ちと共に生徒会に立候補した前向きな水川さん。当たり前のことが当たり前に行えるようになりたい！と、成長できる環境に踏みだした福岡君。人の気持ちに分かり、多くの意見をまとめている自分になりたいたい。細内さんは生徒会に入った。



書記長 ほそうち 花菜



副議長 ふくおか 福岡



議長 みずかわ 愛梨

## 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡大に係る意見書

「学校の働き方改革」の推進は教職員の心身の健康を守るとともに、子どもたちへの豊かな学びを保証することにつながるが、教職員定数改善や業務削減が伴わなければ「学校の働き方改革」にはつながらない。これには、自治体だけでは限界があり、国の施策として法改正や財源保障が不可欠である。

また、三位一体改革により、義務教育費国

庫負担制度の負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられ、その結果、地方自治体の財政も圧迫され自治体間の教育格差が生じることは大きな問題である。

また、三位一体改革により、義務教育費国

改善を推進すること。  
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

1. 計画的な教職員定数

令和元年9月26日  
広島県北広島町議会

### 【提出先】

衆議院議長・参議院議長  
内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣

## 主要農作物種子法を廃止する法律に対する意見書

主要農作物（米・麦・大豆）種子法の廃止に際し、国民の食の権利と食の安全を守るために、公共財としての農産物の種子を保全する新たな法整備や条例整備と施策を求める請願は、参議院附帯決議にあるように、「都道府

県での財源確保」、「種子の国外流出禁止」、「種子独占の弊害の防止」の観点

において採択とし、意見書を提出する。  
令和元年9月26日  
広島県北広島町議会

### 【提出先】

内閣総理大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・財務大臣

## 免税軽油制度の継続を求める意見書

軽油引取税の課税免除の特例措置が失効となれば、北広島町のスキー場経営、農林業経営等の維持に影響を及ぼしかねない。

よって、この軽油免税制度の継続を求めるよう、国に要請する。

令和元年9月26日  
広島県北広島町議会

### 【提出先】

内閣総理大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・財務大臣

## 新たな過疎対策法の制定に関する意見書

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。

### 【提出先】

内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・農林水産大臣・国土交通大臣

令和元年9月26日  
広島県北広島町議会

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して

維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実・強化させることが必要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

### 「趣旨」

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化されるよう、新たな過疎対策法の制定に関する意見書を提出することについて議会の議決を求め

## お詫び

- p.5 臨時会の議案説明(3議案目)  
誤 大朝支所 ↓ 正 大朝出張所
- p.2 タイトルとイラスト  
誤 プレミアム付ユート ↓ 正 プレミアム付商品券



議会だより57号において左記の誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

## 広島県境に接する益田市匹見町道川地区に計画されている

### (仮称)益田匹見風力発電計画に対する決議

広島県境に接する益田市匹見町道川地区に計画されている(仮称)益田匹見風力発電計画について、広島、島根両県の地元住民などが不安の声を上げている。特に、広島県を代表する八幡高原の景観と自然を先祖代々受け継いで生活してきた八幡地区住民と、各方面で八幡に縁のある方々の建設反対の思いは大変切実である。

当議会として慎重に審議した結果、地球温暖化防止や地球環境の保全の観点から自然の力を利用するエネルギーの重要性については認識しているものの、当該事業は、先人から守り続けてきたかけがえのない自然環境を失い、愛される眺望景観を失い、近隣住民の穏やかな生活環境を失うなど多大な影響を及ぼすことが懸念されるため北広島町八幡地区に隣接するエリアでの風車の建設に反対する。

以上 決議する。

令和元年9月26日  
広島県北広島町議会

## 表紙の写真



10月11日、舞ロードIC千代田にて開催された「2019世界パラ陸上競技選手権」及び「第16回世界ソフトテニス選手権大会」出場壮行会の写真です。

世界パラ陸上競技選手権には、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社所属の白砂匠庸さん、世界ソフトテニス選手権大会には、どんぐり北広島ソフトテニスクラブ所属の半谷美咲さん・高橋乃綾さんが出場します。

皆の心を一つにする素晴らしい魅力があるスポーツ。北広島町から世界を舞台とする選手が出ることは、町民の誇りでもあります。各大会での3名のご活躍を心からお祈りしています。

【ご意見や提案の連絡先】  
050-5812-1862  
(議会事務局まで)

【発行責任者】  
議長 宮本 裕之  
【議会広報特別委員会】

委員長 伊藤 淳  
副委員長 服部 泰征  
委員 真倉 和之  
委員 湊 俊文  
委員 敷本 弘美  
委員 山形しのぶ  
委員 亀岡 純一

## あしがき

耳をすませば夏の「せみの声」から秋の「虫の声」が聞こえてくる今日この頃。〇〇の秋、といえ、いろいろ思い浮かぶ。「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」「行楽の秋」「紅葉の秋」、一般的に紅葉といえ、鮮やかなもみじを思い浮かべる人が多いのではないだろうか。

北広島町大朝、西教寺の大銀杏は県内でも有数の大木であり、青空に、満偏なく広がる黄色の銀杏の樹は、一服の絵のようだ。

「銀杏の葉が散り始めると本格的な冬が到来するんよ」と地元のおばあちゃんが語ってくれた。もう少し秋を楽しみたい。